（財）日本ハンドボール協会公式記録用紙

スローオフ　洛北

A　府立洛北高等学校	四天王寺高等学校　B

18	8 — 11 10 — 8 7mTC	19

A　楠本　繁生　　繁田　順子　B

大会名	平成21年度 第33回全国高等学校ハンドボール選抜大会
平成 22 年 3 月 29 日（月）　場所	岩手県花巻市 花巻市総合体育館
種別	高校女子
回戦	準決勝

A　府立洛北高等学校

役員A	楠本　繁生
役員B	佐久間　良幸
役員C	上村　宗男
役員D	川下　真由

チームタイムアウト　前半 27：09　後半 29：52

背番	氏名	警告	退場	失・追	前半	後半	延1	延2	7MT	計
2	櫻井　友美									
3	眞継　麻礼				2	1				3
4	岸本　奈緒				2					2
5	笠原　有紗				1	3				4
6	太刀川　明				1					1
7	田邉　早紀									
8	吉田　千紘				1					1
⑨	角南　果帆				1	6				7
10	横山　まり									
11	谷村　よしの									
12	和田　理恵子									
13	瀧本　沙弥									
14	亀山　彩恵									
15	髙田　祐未									
合計		3	1	0	8	10				18

B　四天王寺高等学校

役員A	繁田　順子
役員B	白鳥　貴子
役員C	畝木　侑子
役員D	加藤　瑞喜

チームタイムアウト　前半 ：　後半 ：

背番	氏名	警告	退場	失・追	前半	後半	延1	延2	7MT	計
1	濵田　亜理紗									
3	宮里　寿枝									
4	林　夏美									
8	関　真理子									
11	堀川　真奈				1					1
12	白石　さと									
23	渡井　渓									
㉔	水田　亜莉沙				1	2				3
25	前　侑果				1					1
26	浦本　麻未									
27	前田　のぞみ									
28	阿久田　実咲				1	2				3
29	竹下　佳慧				7	4				11
30	田中　理沙									
合計		3	0	0	11	8				19

タイムキーパー	田村　淳
スコアラー	吉田　幸永
マッチバイザー	船木　浩久
審判	篠原　理
審判	米内山　壮之

前半

A 背番	A 結果	A 得点	時	間	B 得点	B 結果	B 背番
			3	31	1		25
6		1	4	23			
			4	55	2		29
			6	28	3		11
4		2	6	56			
9	○	3	7	55		W	11
5	W		9	43	4	○	29
			11	50	5		29
			13	41	6		29
4		4	15	29			
3		5	17	06			
9	W		17	43			
5		6	18	11			
3		7	19	35			
5	×		20	55		W	28
			21	43	7		29
			23	16	8		29
8		8	24	12			
			24	51	9		28
			26	05	10		29
			26	46	11		24
	T		27	09			
8			-		11		

後半

A 背番	A 結果	A 得点	時	間	B 得点	B 結果	B 背番
5		9	6	01			
6	W		6	53			
9		10	9	39			
			12	59	12		29
9		11	17	05			
5		12	18	13			
9	○	13	19	23			
			20	15	13		24
5	S		20	58	14	○	29
			21	43	15		24
9	○	14	22	07			
3		15	23	01			
			23	36	16		28
9		16	24	25			
			25	39	17		29
5		17	26	57			
			27	38	18		29
9	○	18	28	22		W	4
			29	51	19		28
	T		29	52			
18			-		19		

結果欄略号

W	警告	○	７Ｍスロー得点
S	退場	×	７Ｍスロー失敗
D	失格	T	チームタイムアウト
D	失格		
E	追放		

戦評

記入者　西村和浩

18年ぶり2度目の優勝を狙う四天王寺と2年ぶり4度目の優勝を狙う洛北の近畿ブロック代表同士の顔合わせ。前半立ち上がりは両者とも堅さが見られたが、四天王寺㉕前の速攻を皮切りに、㉙竹下のポストプレーや速攻を確実に決めると、対する洛北は⑥太刀川のサイドシュート、④岸本の豪快なロングシュートなどで反撃し、一進一退の攻防が続いた。抜け出たのは㉘阿久田、㉙竹下、㉔水田の３連取を成功させた四天王寺で、前半を１１－８と３点リードで折り返した。後半も、前半同様両者共に固いＤＦからの速攻や緻密なセットプレーを繰り広げ、後半２８分過ぎまで同点。手に汗握る展開に延長突入かと思われたが、後半のこり９秒に決勝点を四天王寺㉘阿久田があげた。１点を守りきった四天王寺が決勝進出を果たした。